

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------|-------|-----------------|---|----|-------|--------|---------|-------|---------|--|----------------------|----------------|--|
| 科目区分 | 教養科目 | 授業科目名 | 国語表現法 | | | 科目コード | 24Y004 | 担当者 | 馬場 敦子 | | | 担当形態 | 単独 | |
| 対象学科・コース | 幼児教育学科 | 配当年次 | 1年次 | 開講学期 | 前期 | 単位数 | 1 | 必修・選択の別 | 必修 | 免許・資格要件 | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 履修条件 | | | | | | | | | | 教育職員免許法施行規則に定める科目区分等 | 科目区分 | |
| 実務の経験を有する教員担当科目 | | 該当 | 実務の経験内容及び科目との関連 | 高等学校国語教師としての経験があり、専門的な知識や指導方法を有している。この経験を活かして実践的な授業を行う。 | | | | | | | | | 科目に含めることが必要な事項 | |

| | | | |
|-------|--|--------------------------|---|
| 授業の主題 | 社会に出て必要となる会話や文章表現の基本を正しく身につける。 | 課題等への対応 (フィードバックの方法等) | ・提出物は提出後に個別に添削したり、全体で解説等を行う。 ・発表課題は資料、内容、態度等の基準を提示し評価する。 |
| 授業の方法 | ・適宜パソコンを使って授業を行う。 ・教科書を使用し、必要に応じて資料も配布する。 | アクティブ・ラーニングの実施方法 | ・交互のロールプレイングにより多角的な視点を体験し、言語化する。 |

| 回数 | 授業計画 | 事前・事後学修 | |
|-----|---|---|-----------|
| 第1回 | ・シラバスを使って8回の授業の概要を説明する ・「保育者」を意識した「幼児にむけて」と「保護者にむけて」の自己紹介原稿の作成 | 復習：対象によって変わるポイントを振り返り、理解する。 課題：自己紹介原稿を作成し、読む練習をする。 | |
| 第2回 | ・「保育者」を意識した自己紹介 ・クラスメートの自己紹介の評価 | 復習：評価の観点を確認し、効果的な表現について理解する。 | |
| 第3回 | ・聞き取りやすい話し方の基本 ・語句小テスト | 課題：自分の声の特徴を分析しておく。 | |
| 第4回 | ・保育者の発声と説得力 | 復習：ロールプレイングを通し音声以外の伝達要素についても意識する。 | |
| 第5回 | ・社会人としての敬語の使い方 ・敬語テスト | 復習：敬語の用法を習得する。 | |
| 第6回 | ・文章表現の基本的なルール ・語句小テスト | 復習：板書や資料を振り返り、理解を深める。 | |
| 第7回 | ・実習日誌の書き方 ・指導計画の書き方 | 復習：実際の実習日誌、指導計画をみて要諦を把握する。 | |
| 第8回 | ・事例研究 ・レポート作成（テスト） | 復習：これまでの講義の振り返りを行い、レポートとして提出する。 | |
| | | 事前・事後学修時間 (分/授業1回) | 180分/授業1回 |

| | | | |
|---------------------|-----------------------------|------------|--|
| 教科書 [書名/著者名/出版社] | 「保育者になるための国語表現」/田上貞一郎著/萌文書林 | 受講生へのメッセージ | <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんが現場に出た時に直面する言葉の問題に即して、本科目で実践的に学びます。 ・授業のある曜日しか来ませんので、質問などあったらEメールで受け付けます。 |
| 参考書 [書名/著者名/出版社] | なし | | |

